

2022.11.9 水 - 11.25 金

※土日は休み ※23日(祝日)open!

5人展

出展作家…阿部花凜、大槻陽人、佐藤玲奈、塚本愛実、野々村聡真



入場無料

会場…アール・ド・ヴィーヴルギャラリーカフェ
神奈川県小田原市久野403-17

art
de
vivre

開館時間:10:30-16:00

※カフェのラストオーダーは15:30

会場アクセス:小田原駅西口2番のりば 伊豆箱根バス 久野兎河原循環「下宿南」下車徒歩2分

TEL:0465-25-4534

HP:<http://artdevivre-odawara.jp>



5 人 展

阿部花凜 / 大槻陽人 / 佐藤玲奈 / 塚本愛実 / 野々村聡眞

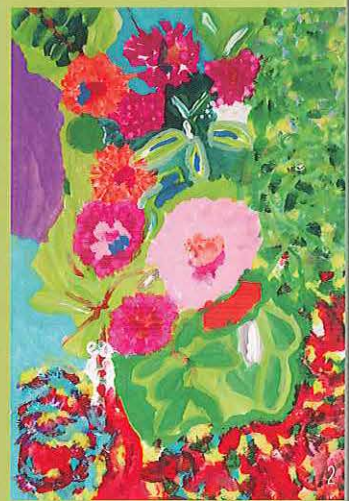
2022.11.9 水 - 11.25 金

会場 NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル ギャラリーカフェ 入場無料
10:30-16:00 土日は休み / 23日(祝日)はオープン

5人展は、障害福祉サービス事業所アール・ド・ヴィーヴルで活動する49名のメンバーの中から、5人にスポットをあてた展覧会です。日々支援に携わるスタッフの目線で彼らの魅力を感じてもらえるような作品を選びました。

.....
障害があっても自分らしく生きる日常を送ることを願い始まった活動は10年目を迎えました。おかげさまでメディアや展覧会でご紹介いただき多くの反響をいただきました。作品を通して、障害に対する心のバイアスが外れた、作家にリスペクト、自分らしく生きることに共感される声が届いています。本展は、まさにホームでの展覧会です。アート作品はもちろんのこと、作家たちが創作する日常に出会うことができるかもしれません。メンバーが作るハンドメイドのケーキをご用意して、みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

理事長 萩原美由紀



表面：阿部花凜
裏面：1. 塚本愛実 2. 阿部花凜
3. 佐藤玲奈 4. 大槻陽人 5. 野々村聡眞

ギャラリーカフェ 同時 OPEN

10:30-16:00 (カフェのラストオーダーは15:30)
土日休み、23日(祝日)はオープン

art
de
vivre

アクセス・小田原駅西口2番バスのりば

伊豆箱根バス・久野兎河原循環「下宿南(しもじゅくみなみ)」下車徒歩2分

主催：NPO法人アール・ド・ヴィーヴル 神奈川県小田原市久野403-17

お問い合わせ：tel 0465-25-4534 mail info@artdevivre-odawara.jp web http://artdevivre-odawara.jp

どんなハンディがあっても、初めて踊る人もWelcome!
必要なのは踊りたい気持ちだけ。
スクランブルダンスは、いまここで共に生きる全ての人が、
ダンスで交わり結びつく場所です。

2022年
第5回
11月23日 水・祝
14:00~16:00 (受付 13:30)

対象となる方

地域

小田原市内および
近隣在住の方

年齢

10歳以上
(10歳未満の方、要相談)

参加費 1,000円 (当日・現金清算) 定員 20名程度 講師 松岡 大 (山海塾 踊手)

会場 小田原市観光交流センター内「イベントスペース」
(神奈川県小田原市本町一丁目7番50号)
※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

お申し込みは裏面から ▶

ゲスト講師 砂連尾 理 (じゃれお おさむ)

1991年、寺田みさことダンスユニット結成。

2002年 TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARDにて「次代を担う振付家賞(グランプリ)」「オーディエンス賞」をW受賞。04年「京都市芸術文化特別奨励者」受賞。立教大学 現代心理学部・映像身体学科 特任教授。

●近年活動:ドイツの障がい者劇団ティクバとの共同制作『Thikwa+Junkan Project』、京都・舞鶴の高齢者との『とつとつダンス』と『とつとつダンス part.2 愛のレッスン』、宮城県開上の避難所生活者への取材が契機となった『猿とモルタル』等。

●舞台作品:病・障害などを(生きる過程にある変容)と捉え、対話を通してダンスへと変換する『変身ええ、私です。又あなたです。』

●映画作品(振付・出演):濱口竜介監督『不気味なものの肌に触れる』他、山城知佳子監督作品、石田智哉監督作品等。

●著書:『老人ホームで生まれた(とつとつダンス)ダンスのような、介護のような』(晶文社)。



神奈川文化プログラム



©奥津大希(アール・ド・ヴィーヴル)

スクランブル・ダンスプロジェクトとは

スクランブル・ダンスプロジェクトは、障害がある人もない人も共に踊るダンス活動。
神奈川県小田原市で2016年に始まりました。

ワークショップにはさまざまな参加メンバーが集まります。年齢も職業もできることもまちまち。プロのダンサーも、勤め人も学生も、車椅子の人も、ほとんど言葉を話さない人もいます。共通点はただ一つ、踊ることが大好きだということ。

講師は舞踏家の大野慶人さん(故人)、松岡大さん。先生のナビゲートする声をたよりに、その日その場所にある音楽や気配、光や風と響き合いながら体を自由に動かしていきます。障害がある人たちはためらいません。まっすぐな表現がみんなに伝染し、最初は恥ずかしがっていた人も踊る喜びを花開かせていきます。

時にはみんなで振り付けを考えたり、すてきな動きの誰かを真似したり。

「踊る」というテーマでつながる場に障害があるなしの壁はどんどん消えていきます。

そして共に踊っているうちに確信するのです。全ての人が唯一無二の、かけがえのない存在であることを。そしてみている人にもそれは伝わり、いつしか体が動き出してしまいます。

いまここで共に生きる全ての人が、ダンスで交わり、結びつく。

それがスクランブル・ダンスなのです。

スクランブル・ダンスプロジェクト Works

2018年3月

発表会「雪月花」

小田原市文化創造活動担い手育成事業

2021年3月

ワークインプログレス「ひかりのすあしへ 向かって」

2021年12月

公演「無限に映く」

2022年1月

映像×音楽×ダンス公演「score」スクランブルversion

2022年2月

映像作品配信「いま、生まれたばかり」共生共創事業



配信中

映像作品
「いま、生まれたばかり」

共生共創事業(神奈川県)
ホームページからご覧ください。



art+de vivre
アール・ド・ヴィーヴル

アール・ド・ヴィーヴルとは
フランス語で「自分らしく生きること」

障がいのある人たちが自ら仕事を選択し、地域社会とのつながりの中で社会的に自立し「自分らしい毎日の仕事」を持つことを大切に考えています。

ひとりひとりの個性を仕事につなげること、そして仕事を収入(工賃)へ反映させること、障がいのある人もない人も共に生きる未来に向けた事業を行っています。

それぞれが得意なことを仕事に

絵画・クラフト・織り・農作業など、さまざまな活動を通して自分のやりたいことを見つけ、自分のペースで取り組みます。また作品を商品化するための作業や展示販売、配達にも関わり、仕事の対価を受け取ります。

生活する力を高める

仕事の準備や片付け、掃除など、事業所での日常生活も手分けして行います。また近隣への買い物など「自分で生活するための力」をそれぞれのペースで高めて行きます。

社会とつながる

商品のお届けや設置作業などの仕事を通して、地域と積極的に関わります。障がいを持つ人への理解を深め、仲間としてともに生きる社会を目指します。

「アール・ド・ヴィーヴル」
ホームページ



松岡 大 (舞踏家/NPO法人LAND FES 代表)

街を歩きながらダンサーとミュージシャンによるパフォーマンスを鑑賞する「LAND FES」を主宰し、パフォーマンスアートを通じて共生社会を目指す活動に取り組む。

2005年より舞踏カンパニー山海塾に舞踏手として参加。「金柑少年」「とぼり」「卵熱」「ARC」などの主要作品に出演中。

2018年より「スクランブル・ダンスプロジェクト」の講師・演出を務める。

2021年、Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13「Tokyo Real Underground」キュレーターを務める。

NYのシアターカンパニー「Phantom Limb Company」の舞台に出演するなど、海外アーティストとのコラボレーションも多数。

スクランブル・
ダンスプロジェクト
ワークショップへの
お申込み・お問い合わせ

✉ sdp.odawara@gmail.com

- ① 「お名前」「年齢」「E-mailまたは電話番号」、ハンディキャップのある方はその旨お書き添えの上、メールもしくは右記のお申し込みフォームからご連絡ください。また、ご見学のみも可能です。
- ② ご参加の際は、「動きやすい服装」「飲料」をご持参ください。

